



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年10月31日

上場会社名 ダイニチ工業株式会社  
コード番号 5951 URL <http://www.dainichi-net.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉井 久夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 酒井 春男

TEL 025-362-1101

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,731	34.5	△203	—	△88	—	△86	—
23年3月期第2四半期	2,774	△18.1	△355	—	△273	—	△189	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△4.91	—
23年3月期第2四半期	△10.72	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	25,515	21,969	86.1
23年3月期	26,535	22,374	84.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 21,969百万円 23年3月期 22,374百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	6.7	2,000	5.0	2,000	4.2	1,200	15.3	67.86

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	19,058,587 株	23年3月期	19,058,587 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,374,273 株	23年3月期	1,374,029 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	17,684,412 株	23年3月期2Q	17,687,977 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響等により企業収益は悪化し消費動向は一時の自粛ムードから弱含みとなったものの、個人消費は緩やかな回復傾向が続いておりました。

また、生産はサプライチェーンの立て直しにより持ち直し設備投資は下げ止まりつつある状況にありました。しかしながら、長引く円高や欧州での金融不安などにより今後の景気動向は依然として不透明な状況にあります。

こうしたなかにあつて当社は、他社に先行した商品とサービスを提供することで経営体質の改善を続けてまいりました。

また、商品の安全性と信頼性を重視し、重大製品事故を未然に防止する体制の維持に努めてまいりました。

主力商品であります石油暖房機器におきましては、販売チャネルに適した商品ラインナップの展開をはかり販売拡大に努めました。また、冬の節電商品として採り上げられたことで販売が好調に推移いたしました。

加湿器におきましては、従来のハイブリッド式のほかに省電力に優れた気化式の加湿器も商品ラインナップに加え、積極的な販売活動を展開いたしました。

その他におきましては、JX日鉱日石エネルギー株式会社より生産委託された家庭用燃料電池システムの生産を開始いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は37億31百万円（前年同期比34.5%増）、営業損失は2億3百万円（前年同期比1億52百万円減）、経常損失は88百万円（前年同期比1億85百万円減）、四半期純損失は86百万円（前年同期比1億2百万円減）となりました。

なお、当社は石油暖房機器が主力であるため、売上は第3四半期会計期間に集中する傾向があり、当第2四半期累計期間は売上に連動しない定常的経費である販売費及び一般管理費の計上により損失が発生いたします。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は、主に現金及び預金の減少による流動資産の減少により、前事業年度末に比べ10億19百万円減少し、255億15百万円となりました。負債は主に未払法人税等の支払による流動負債の減少により、前事業年度末に比べ6億14百万円減少し、35億46百万円となりました。純資産は四半期純損失及び剰余金の配当による利益剰余金の減少により、前事業年度末に比べ4億5百万円減少し、219億69百万円となり、自己資本比率は86.1%となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、仕入債務の増加により、一部相殺されたものの、たな卸資産の増加等の要因により、前事業年度末に比べ72億16百万円減少し、38億22百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は65億14百万円（前年同期比83.5%増）となりました。これは主に、仕入債務の増加額6億70百万円等による資金の増加があったものの、たな卸資産の増加額55億7百万円、法人税等の支払額7億37百万円、売上債権の増加額5億9百万円等の資金の減少によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3億85百万円（前年同期比76.6%減）となりました。これは主に、有価証券の売却7億円による資金の増加があったものの、有形固定資産の取得4億77百万円、有価証券の取得3億円、投資有価証券の取得3億円による資金の減少によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3億17百万円（前年同期比0.7%減）となりました。これは主に、配当金の支払額3億17百万円によるものであります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成23年5月9日発表の「平成23年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載した業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,038,784	3,821,904
受取手形及び売掛金	2,875,224	3,384,532
有価証券	792,903	1,192,533
製品	2,666,760	7,930,834
仕掛品	70,611	158,632
原材料及び貯蔵品	695,688	851,407
繰延税金資産	284,774	302,040
その他	91,009	298,092
貸倒引当金	△5,800	△6,800
流動資産合計	18,509,958	17,933,178
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,494,259	1,541,541
土地	1,507,877	1,578,795
その他（純額）	1,626,812	1,570,347
有形固定資産合計	4,628,949	4,690,684
無形固定資産		
投資その他の資産	34,937	39,247
投資有価証券	2,969,213	2,450,971
繰延税金資産	337,710	350,991
その他	57,110	53,121
貸倒引当金	△2,671	△2,739
投資その他の資産合計	3,361,363	2,852,344
固定資産合計	8,025,250	7,582,276
資産合計	26,535,208	25,515,454

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	860,040	1,531,032
未払法人税等	756,859	19,805
賞与引当金	222,059	270,717
製品保証引当金	233,900	222,100
その他	1,054,595	432,620
流動負債合計	3,127,453	2,476,275
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	135,770	135,770
退職給付引当金	203,080	215,401
役員退職慰労引当金	694,500	718,752
固定負債合計	1,033,350	1,069,924
負債合計	4,160,803	3,546,199
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,058,813	4,058,813
資本剰余金	4,526,572	4,526,572
利益剰余金	14,831,566	14,426,484
自己株式	△989,057	△989,223
株主資本合計	22,427,894	22,022,646
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	47,037	47,136
土地再評価差額金	△100,527	△100,527
評価・換算差額等合計	△53,490	△53,391
純資産合計	22,374,404	21,969,255
負債純資産合計	26,535,208	25,515,454

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,774,762	3,731,552
売上原価	1,778,815	2,453,049
売上総利益	995,947	1,278,502
販売費及び一般管理費	1,351,753	1,482,192
営業損失(△)	△355,806	△203,689
営業外収益		
受取利息	35,597	38,301
受取配当金	6,458	12,219
作業屑収入	29,774	40,402
その他	14,617	26,748
営業外収益合計	86,448	117,671
営業外費用		
複合金融商品評価損	320	1,520
その他	3,538	522
営業外費用合計	3,858	2,042
経常損失(△)	△273,216	△88,060
特別利益		
投資有価証券売却益	9,812	—
貸倒引当金戻入額	2,975	—
固定資産売却益	270	628
特別利益合計	13,058	628
特別損失		
固定資産売却損	2,782	—
投資有価証券評価損	—	19,560
その他	4,285	2,881
特別損失合計	7,067	22,441
税引前四半期純損失(△)	△267,226	△109,873
法人税、住民税及び事業税	7,500	7,500
法人税等調整額	△85,056	△30,613
法人税等合計	△77,556	△23,113
四半期純損失(△)	△189,669	△86,760



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△267,226	△109,873
減価償却費	348,366	380,165
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	9,546	24,252
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,484	1,068
賞与引当金の増減額(△は減少)	45,823	48,658
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15,093	12,321
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△14,900	△11,800
投資有価証券評価損益(△は益)	—	19,560
受取利息及び受取配当金	△42,055	△50,520
売上債権の増減額(△は増加)	1,393,502	△509,411
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,422,774	△5,507,812
仕入債務の増減額(△は減少)	102,493	670,992
減損損失	—	1,449
未払消費税等の増減額(△は減少)	△68,891	△143,097
預り金の増減額(△は減少)	△83,881	△439,372
前払費用の増減額(△は増加)	△11,015	△9,392
未収入金の増減額(△は増加)	△160,547	△200,476
前受金の増減額(△は減少)	△3,598	△14,814
その他	161,285	14,977
小計	△3,003,265	△5,823,127
利息及び配当金の受取額	40,818	46,670
法人税等の支払額	△587,335	△737,617
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,549,781	△6,514,074
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△1,896,579	△300,000
有価証券の売却による収入	1,700,000	700,000
有形固定資産の取得による支出	△637,051	△477,709
有形固定資産の売却による収入	1,515	666
投資有価証券の取得による支出	△815,312	△300,710
投資有価証券の売却による収入	1,938	2,280
その他	△1,710	△9,944
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,647,199	△385,417
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△317,581	△317,096
自己株式の取得による支出	△2,256	△166
自己株式の売却による収入	427	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△319,410	△317,263
現金及び現金同等物に係る換算差額	△68	△64
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,516,459	△7,216,818
現金及び現金同等物の期首残高	9,248,624	11,038,927
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,732,164	3,822,108

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。